

# Ⅲ 放課後子ども教室 の実践事例

## Ⅲ 放課後子ども教室の実践事例・・・・・・・・・・ 115

◆平成26年度放課後子ども教室一覧	・・・・ 115
◇栗東市	・・・・ 116
◇米原市	・・・・ 124
◆放課後児童クラブの現状調査	・・・・ 129

## H 2 6 放課後子ども教室一覧表

市町名	教室数	運営委員会・教室名	実施場所	開催曜日	開設時間	委託	委託団体名
栗東市	7	○栗東市地域教育協議会					
		葉山東ふれあい子ども広場	葉山東小学校体育館 コミュニティセンター葉山東	水	15:00～17:00	○	栗東市地域教育協議会
		はるたっこ広場	治田小学校体育館 コミュニティセンター治田	金	15:00～17:00		
		チャレンジはるひがっこ	治田東小学校体育館 コミュニティセンター治田東	水	15:00～17:00		
		治西のびのび広場	治田西小学校 コミュニティセンター治田西	水	15:00～17:00		
		大宝わくわくタイム	大宝小学校体育館	水	15:00～17:00		
		さんさん・キッズ	大宝東小学校体育館 コミュニティルーム	水	15:00～17:00		
		大宝西ふれあい子ども広場	大宝西小学校体育館 コミュニティセンター大宝西	水	15:00～17:00		
米原市	4	○米原市放課後安心プラン運営委員会					
		放課後キッズinおうみ	近江地域内の里山・農園・公民館	平日・日	9:30～11:30 10:00～14:00	○	NPO法人 おうみ地域人権・文化・ス ポーツ振興会
		放課後キッズinまいはら	河南小学校、旧息郷小学校 すばーく米原	土	9:00～11:00	○	NPO法人 MOSスポーツクラブ
		放課後キッズin 310	米原市山東生涯学習センター	水 土	15:00～17:00 9:30～11:45	○	NPO法人 カモンスポーツクラブ
		放課後キッズinジョイ	伊吹薬草の里文化センター 伊吹山文化資料館 伊吹山麓青少年総合体育館	水・日	16:00～17:45 10:00～12:00	○	伊吹山麓スポーツ文化振 興事業団
計	11						

## 栗東市における放課後子ども教室の取組

### ■ めざす姿

○地域の教育力を向上させ、地域で子どもを育てる環境の形成および、子どもたちに様々な体験活動を通じて、地域とのつながりを深め、健全な青少年の育成をめざす。

### ■ 本年度の活動

○7小学校区にて放課後の見守りや体験活動、軽スポーツ、学習（宿題）を行う。  
季節に応じたイベント（七夕やハロウィン、クリスマスなど）や誕生日会など、子どもたちが参加して楽しめるイベントを企画した。

### ■ 本年度の成果

○週に1回程度ではあるが、放課後の安全な交流の場として、様々な団体との協働により、多くの体験活動を実施できた。

### ■ 今後の課題

○スタッフの確保は常に大きな課題になっている。数十人の児童が軽スポーツをする際に、数名しかスタッフがつけないことがある。

○また、継続して活動していけるよう、安定した補助金の確保。

○9小学校区のうち、開催できていないところがあるが、なかなか地域でスタッフの呼びかけをしても集まりにくい。子ども相手になると体力的にも負担を感じられるケースが多く、若い方は仕事をもっておられる場合が多いので、協力を得にくい。

○学童保育所との一元化により、人員の確保について地域ボランティアだけではなく、児童の指導ができる方の参加があればよいと思う。

○「放課後の見守り」が主たる内容になっており、「何らかの体験学習」、「学ぶことの楽しさを感じる」という専門性が高い内容についてはあまり実施できていない。

### ■ その他

○地域のボランティアの方が主として活動を支えてくださっているため、現状では放課後の見守り活動や、地域の方との交流推進ができていますので良いと感じている。



**■ おとなと子どもと一緒に活動し、多くの体験で地域文化を伝えていきます。**

■ 栗東市	
■ 活動名	
葉山東ふれあい子ども広場	
年間開催日数	31日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	43人
開始年度	19年度

**■ 活動の概要**

放課後の時間、学校体育館の空き時間やコミュニティセンターを活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動などを行う。

**■ 特徴的な活動内容**

申し込みの時点から「軽スポーツ」、「クラフト（あやとり、コマ、クリスマスリース、カレンダー、ストロー笛などを作成）」、「囲碁・将棋」に分け、一年を通してその活動を行う（途中変更可）。定期的にお楽しみ会を行い、3班全員が集まって交流できるような機会を作る、また地域の文化祭にクラフトで作成した作品を出品し、活動内容を広報している。



【 次の一手は… 】



【 栗東ロテリアで地域の名所をおぼえよう！ 】

**■ 実施に当たっての工夫**

3班に分けているが、学期末での全体活動で交流を図っている。コミュニティセンター事業と連携して、出来るだけ多くの活動を実施できるように工夫している。

**■ 事業の成果**

コミュニティセンターのかかわりが深いので、地域全体で子どもを見守ろうという取り組みになってきている。今後も協力者をふやしながら活動を続けて生きたい。クラフト、自由遊び、囲碁・将棋と希望を分けて参加者を募っているため、子どもたちの参加率はよかった。

栗東ロテリア（カードゲーム）で地域の名産品や名所の勉強をしたが、多くの子が地元のことを知らないことに驚き、また、興味を示していた。

**■ 事業実施上の課題**

スタッフの確保、特に軽スポーツの指導者が不足している。現在のスタッフが高齢化していく中で、いかに世代交代していくかが重要な問題となっている。事故の不安があったので、小さいお子さん（未就学児）連れでのスタッフ参加を断っていたが、今年からは参加してもらっている。

**■ その他**

参加者が自分の好みに応じた活動ができているので、のびのびとしている。

## ■ 放課後のあそびば はるたっこ広場

■ 栗東市	
■ 活動名	
はるたっこ広場	
年間開催日数	28日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	62人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、学校体育館の空き時間やコミュニティセンターを活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や自由活動、軽スポーツ、創作活動などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

学校を集団下校でコミセンに集合後、受付から活動開始までの時間は各々宿題等をしている。今年度から本の読み聞かせサークルに、絵本の読み聞かせの協力をいただき、本に興味のある子は別室で読み聞かせ行っている。活動は学校体育館をお借りし、自由遊び(長縄跳び、バドミントン、ドッジボール、フリスビーなど)行い、スタッフが見守りや活動の補助をする。

### ■ 実施に当たっての工夫

基本は自由遊びで、スタッフは一緒に遊んだり、見守りをしたりしている。

季節ごとに、時節に応じたクラフト作成やお楽しみ会を実施している。

別途参加費を徴収することになるが、お楽しみ会を設けていることで、普段はあまりしないお菓子作りなど体験できるようにしている。



【自由活動の一コマ 大縄跳び】



【初回、校長先生よりあいさつ】

### ■ 事業の成果

本読み聞かせサークルの協力を得たことで、スタッフ全体、時間的、体力的なゆとりができた。

自由遊びの後から途中参加する子も、静かに、落ち着いた感じで部屋に入り、先にいる子どもたちの邪魔にならないよう、気を配れるようになった。

場所については、小学校の体育館を借りているので、人数が多くても対応できている。のびのびと走り回れているので、子どもたちも楽しそうである。

### ■ 事業実施上の課題

現在は「定員」を設けずに、参加したい児童全員に参加してもらっている(募集は1年生から6年生まで、現在の参加は1年生から4年生まで)。今年度は70名以上の参加申し込みがあり、低学年ほど多いことから、スタッフが不足気味である。スタッフも高齢化していることから、次の世代の人材にどのように事業を引きついでいくかが大きな問題であると思っている。

来年度以降は定員を設けるかどうか、スタッフ間でしっかりと協議が必要である。

### ■ その他

できれば市内の他教室と同様に水曜日に開催したいが、他の活動と重複して体育館が使えないため金曜日開催にしている。

スタッフ一同、協力して子どもが楽しめるような内容を企画して行きたいと考えている。

## ■ みんなでたのしくチャレンジ「はるひがっこ」

■ 栗東市	
■ 活動名	
チャレンジはるひがっこ広場	
年間開催日数	28日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	42人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、学校体育館を活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

七夕飾りやハロウィンでのクラフト作成、お持ちつきや恵方餅の作成など、季節を感じられる活動を取り入れている。受付後はまず宿題タイムをもうけ、地域スタッフが分からない点を指導しながら宿題をこなし、自由活動(バドミントン、ドッチボール、長縄跳び、フリスビーなど)を行う。英語での絵本読み聞かせも今年度から取り入れている。

### ■ 実施に当たっての工夫

地域スタッフが持っている技能を活用した内容を取り入れ、子どもたちに多くの体験活動が出来るようにしている。時節のイベントを取り入れ、子どもたちに季節を感じられるように工夫し、事業の計画を立てている。



【ハロウィン、ジャックランタン作り】



【みんなが揃うまでは自主的に宿題、スタッフは分からないところをサポート】

### ■ 事業の成果

軽スポーツやクラフト活動のほかに、本年度からは英語での読み聞かせも取り入れている。子どもたちにとって聞いて理解できるところまではいかないが、耳から入ってくる英語と、絵本の絵柄を見て、話の内容を連想することで、外国語への取り組みやすさを感じてもらいたいと思っている。スタッフ内でも活動の幅が広がることと、様々な人材を活用することで負担の軽減も図れ、能力が活かせることでスタッフにもやり甲斐が生まれている。

### ■ 事業実施上の課題

スタッフの確保。これまでは小学生の活動で走り回ったときに危ないので、小さなお子さんがある方からスタッフ申込(子ども連れ)があっても断っていたが、そういった方にも参加してもらい、人材の確保と活動の幅を広げたいと思っている。小さい子(未就学児)がいることで上級生との交流も図れるのではないかと期待している。

### ■ その他

保険代以外にも「自主活動費」として500円徴収している。それにより参加が減ったとは感じておらず、逆に活動内容に幅ができたので良かったと思っている。主に補助金対象とならない食料費に当て、誕生月会など、子どもたちが楽しめるよう工夫している。

## ■ あいさつしっかり「はい」と返事、時間をまもり友達を大切に、最後までやりぬくのびのび広場

■ 栗東市	
■ 活動名	
治西のびのび広場	
年間開催日数	33日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	57人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、コミュニティセンターを活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動、体験学習などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

ニュースポーツや学校プールでの水泳、地域文化祭での創作活動、人権学習や平和学習など地域の施設や人材に広く協力をいただきながら、年33回の活動を行っている。また他団体が主催するスキー教室や琵琶湖でのボート教室、クリスマス会、奉仕活動など、心身ともに健全な成長を促せるよう、内容を工夫している。

### ■ 実施に当たっての工夫

自分たちでサツマイモを植え、収穫した後、戦時の食糧難のお話を聞いて戦争の悲惨さや平和の大事さを学習する。

帰宅時には同じ自治会の児童が集まって集団下校をするようにしており、一人になる場合はスタッフが付いていくようにしている。親の迎えがある児童がいる場合は、同じ方角の児童も送ってもらうよう依頼している。



【 平和学習の風景 1】



【 平和学習の風景 2】

### ■ 事業の成果

自分たちでサルビアの花を植えたり、サツマイモを育てたりしながら、人権について学習し、平和のありがたさについて考えたりしている。作文を書き、みんなの前で発表することで、自分の思いをしっかりと伝える経験をつくることで、一人ひとりがみんなのために考えて行動する意識が芽生えている。

学校施設を多く借りられていることや、先生方のご協力、他団体へのイベント参加をしていることもあり、子どもたちには様々な体験活動や、放課後の安全な活動が実施できた。

### ■ 事業実施上の課題

児童数増が続いており、放課後子ども教室への申込者も高止まりしている。学校の有志の先生方に積極的に協力していただいているおかげで多くの参加者を見守ることが出来て、イベントを実施することができている。現在は有志の先生方のご尽力による活動が多いので、地域のスタッフ自らが動き、事業を実施していく内容を増やし、人材の確保と、質の向上に努めていく必要があると考えている。

定員を設けずに募集をかけているが、設定の是非についてもスタッフにおいて協議が必要と考えている。

### ■ その他

学校やコミュニティセンターをはじめ、他団体との協力により、夏はプールや水辺の活動、冬はスキー教室などが実施できている。現状は学校教諭の負担が大きいことから、少しずつでも地域スタッフが上手く参画できるようにしていきたい。

地域の方やコミュニティセンター、学校の協力が強く現状、運営は上手くいっていると感じている。今後も放課後の児童の見守り活動が続けられるように、パートナーシップを継続していきたい。

## ■ 今日どんな活動かな、みんなわくわく、楽しい時間をすごしましょう。

■ 栗東市	
■ 活動名	
大宝わくわくタイム	
年間開催日数	23日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	44人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、学校体育館の空き時間を活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

受付後は宿題タイム。その後、ラジオ体操をして毎回異なるゲーム(チーム対抗のリレー競争や、ビンゴゲーム、昔遊びなど)や創作活動(バルーンアート、ブーメラン、どんぐりを使ったアクセサリ・けん玉づくりなど)を行っている。最後は毎回ドッジボールを行う。他団体の協力も得ながら、子どもたちに様々な体験活動を経験できるようにしている。

### ■ 実施に当たっての工夫

前年度までの活動内容から「継続して行う活動」に、当年度からの「新しく行う活動」を取り入れ、子どもたちが毎日参加することが楽しみになるような内容をスタッフで相談し決めている。子どもたちの中には「クラフト作成が好きな子」と「体を動かすことが好きな子」がいるので、毎回、最初にラジオ体操、最後にドッジボールを行っている。

全体を4班に分けて、チーム対抗でのゲームやドッジボールを実施することにより、協力することの大切さやみんなのために最後までやりきる気持ちの育成に取り組んでいる。

児童数の多い学区でもあり、定員を設けている。



【 バルーンアートに挑戦 】



【 活動の前にしっかり準備運動 】

### ■ 事業の成果

ドッジボールでは、年度当初は1年生と2、3年生を分けて実施していたが、夏からは合同で4班に分かれ、毎回対戦相手を変えて実施している。上級生がボールをまわしてあげたりして、下級生の面倒を、周りの子どものことを考えて行動できるようになってきていると感じる。はじめは自分で投げることを恥ずかしがる子もいるが、次第に雰囲気やメンバーに打ち解けてきて、自分から動けるようになってきている。

### ■ 事業実施上の課題

スタッフの確保で、どの団体にどのように協力を求めていこうかが問題。紙ベースで募集をしてもなかなか人が集まらないので、声かけで参加を促している。

スタッフが増え、定員オーバーで抽選に外れる子も無くなり、希望者が全員参加できるようにできるようにしたいと考えている。

### ■ その他

学校の終業時間が早まったことで、子どもたちの相手をする時間が増えたことにより、スタッフの負担増を心配していたが、何とか対応できている。子どもたちにとっては時間的にゆとりを持って、「宿題」、「体操」、「活動」、「ドッジボール」と進められているのでいい結果が出ていると思う。

## ■ おひさまのようにみんな笑顔でたのしく活動

■ 栗東市	
■ 活動名	
さんさん・キッズ	
年間開催日数	26日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	34人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、学校体育館の空き時間を活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

宿題タイムをもうけて、スタッフも含めて皆で教えあいながら宿題をする。その後、ラジオ体操、自由遊び(ボール遊び、折り紙、フリスビー、バドミントン、縄跳び、お絵かきなど)を行う。

### ■ 実施に当たっての工夫

活動については、宿題やラジオ体操を行った後、子どもの自主性に任せて自由遊びにしている。スタッフが少ないので、実施できる内容には限りがあるので、主として宿題のサポート、自由遊びと見守りが活動の中心になる。



【 宿題タイム 】



【 ラジオ体操で準備運動 】

### ■ 事業の成果

自由遊びの中で、子どもたちが協調性や自主性を身につけている。地域の人とかかわり、見守り活動を行うことで「地域で子どもを守り育てる」機運が出てきている。

### ■ 事業実施上の課題

子どもの参加希望者が多く中で、対応できるスタッフの不足が慢性的な問題である。スタッフ不足により他の教室のようなイベントの企画や様々な活動ができないのが残念である。急速に都市化が進んだ学区であり、若い世帯が多く、リタイアした方の人材が集まりにくいことも考えられる。

更なる活動内容の充実を図るためにはスタッフの増員や専門スキルを持った人材(団体)の協力、コーディネーターの増員等を期待している。

### ■ その他

現状では「放課後の安全な見守り活動」を主旨として活動している。みんなで宿題をし、ボール遊びやクラフトの作成等を行うことで、目的としては達成できていると感じている。

急速に都市化が進んだ地区でもあり、放課後の遊び場として学校施設を利用できることはありがたいことである。

## ■ 地域みんなで子どもとふれあい、安全な遊び場をつくろう。

■ 栗東市	
■ 活動名	
大宝西ふれあい子ども広場	
年間開催日数	29日

コーディネーター数	1人(全教室兼務)
子どもの平均参加人数	29人
開始年度	19年度

### ■ 活動の概要

放課後の時間、学校体育館の空き時間やコミュニティセンターを活用し、地域の方の協力を得ながら、子どもたちの見守り活動や軽スポーツ、創作活動などを行う。

### ■ 特徴的な活動内容

宿題タイムをもうけて宿題を済ませた後、自由活動（ボール遊び、縄跳び、フリスビー、オセロなど）を行う。七夕飾りやクリスマス会など季節の催しや平和学習 他団体の協力を得て、エコキャンドルの作成や栗東ロテリア（ボードゲーム）、ニュースポーツなど様々な体験活動を行う。

### ■ 実施に当たっての工夫

クラフト活動と自由遊びに加え、季節ごとの催しを加えて、様々な体験活動を実施している。空き瓶と蝋を使ってエコキャンドルを作成し、クリスマス会において全員で点灯する。



【七夕まつり】



【エコキャンドルづくり】



### ■ 事業の成果

グループ分けを行い、上級生が下級生を見るようにしているので、自立心や協調性が育ってきている。

いろいろな団体の活動を加えていくことで、子どもたちが興味をもちやすく、物事に積極的に取り組むようになった。

多方面からスタッフに協力をいただいているので、情報のやり取りやイベントでの協力が得られやすい。

1年生が学校になじむ時間が必要と考えて、活動は6月から開始している。そのため、最初のから整列や座って人の話を聞くことができる子が多いと感じた。

冬、体育館での活動は非常に寒く、子どもたちの参加率に影響が出るかと心配するが、あまり子どもたちは気にならないようでよかった。

### ■ 事業実施上の課題

保護者、民生委員等に声かけを行い、スタッフとして参加いただいているので、他の教室に比べるとスタッフの数は不足していない。一人の負担が多ならないように、今後も協力者、指導者の確保に努める。

### ■ その他

他団体との交流、特に普段自分たちが触れ合う機会が少ない外国人との交流や、外国の話は子どもたちにとってとても興味ぶかいようである。保険代以外でも自主活動費をもらい、毎月の誕生日会などを実施している。

## ■ 米原市における放課後子ども教室の取組

### ■めざす姿

放課後や週末に学校施設やその他公共施設等を活用して、地域に応じた子どもたちの安全・安心な場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちの学びと遊びの体験、異年齢交流の機会を提供し、地域で子どもを守り育てる環境づくりを目指します。

### ■本年度の活動

本年度の活動 実施回数：6回

委員：15人

(有識者、福祉・教育に関わる機関や団体の代表者、子どもの保護者、公募市民など)

・米原市子ども・子育て審議会において、放課後キッズの活動を報告し、今後の活動などについて、議論しました。



### ■本年度の成果

子どもたちに感想を聞く機会があり、「いろいろな体験ができるから楽しい」など、放課後キッズの趣旨である体験を楽しんでくれていることに嬉しく思いました。

地域の方とふれあう場を作り、交流を深めることができた。

様々な体験や遊びを通して子どもたちの成長を支援することができた。

### ■今後の課題

- ・放課後児童クラブとの連携を図る。
- ・土曜日の活動が多いため、平日の放課後にシフトできないか検討する必要がある。
- ・今後の放課後キッズのあり方や方向性などについて再度協議をする。
- ・会員制であるため、いつでも誰でも参加できる開かれた居場所にしていく必要がある。

## ■ 安心できるよ、発見しよう、体験しよう。子どもの新たな居場所づくり

■ 米原市	
■ 活動名	
放課後キッズ in おうみ	
年間開催日数	5 日

コーディネーター数	1 人
子どもの平均参加人数	35 人
開始年度	平成22年度

### ■ 活動の概要

子どもたちにとって安全で快適になるような学校の休日を提供するため、地域のおじいちゃんやおばあちゃん、ボランティアの皆さんにご協力を頂き、異世代間交流や体験活動を行っている。この事業を通じて、地域の方やボランティアさんの特技や技術、生活の知恵を活かし、地域の子どもたちの健やかな成長を見守り、青少年の健全育成の子育て支援に取り組んでいる。

### ■ 特徴的な活動内容

地域にある豊かな地域資源や人材を活かした活動を行っている。具体的には、今年度、地域で子ども達が自由に遊ぶ場所を提供する活動をしている「うかの冒険あそび場」と合同の企画を行い、子ども達の充実した放課後の過ごし方の一例を示した。また、琵琶湖が近いことから、湖岸にある砂を使った企画「砂像作り体験」を行い、地域にある環境を活かした遊び方を体験してもらうことで郷土愛を育む体験を行った。

### ■ 実施に当たっての工夫

地域の子どもたちに農業を中心としたさまざまな体験活動を提供しながら、子どもたちにメンバーの持つ長年培った経験と知恵を継承し、子どもたちの健全育成に取り組んでおられるボランティア団体「どろんこの会」や里山の保全を目的として様々な活動をしている団体「やまのぼの森」などの熱心に活動しておられる地域の団体や書道家などの作家の方に協力して頂きながら、幅広いジャンルの様々な活動を体験する機会を子ども達に提供している。

### ■ 事業の成果

地域の方やボランティアさんが全面協力してくれているおかげで子ども達は放課後キッズの活動時間中、気兼ねなく安心して過ごすことができ、保護者にも安心して子どもを預けて頂くことができた。子ども達は、家や学校ではなかなか出来ない体験を通して、家とも学校とも違う新しい友達と自分達で考えて工夫する力を養うことができた。また、同時に子どもたちの主体性と社会性を育む機会にもなった。

### ■ 事業実施上の課題

事業を数年続けていくと活動内容がマンネリ化してしまう部分がある。今年度も新たな企画を立ち上げて、子ども達や保護者が退屈しない活動を心掛けた。今後も活動のマンネリ化を防ぎながら、地域一体となった子育ての一助となるように活動を進めていきたいと考えている。

### ■ その他

当事業では地域資源を最大限に活かしながら、他にはない活動内容を提供している。地域に居住する保護者や子ども達が自分達の住む地域のことを知り、自分達の住む地域の魅力に気付いてほしいとの思いを持ちながら、活動をすすめている。今後も活動を通して、地域の子育てに貢献していきたい。



## 米原市放課後安心プラン「放課後キッズ in まいはら」

■ 米原市	
■ 活動名	
放課後キッズ in まいはら	
年間開催日数	7日

コーディネーター数	3人
子どもの平均参加人数	19.6人
開始年度	平成23年度

### ■ 活動の概要

米原市では、子ども達にとって安全で快適な放課後の居場所づくりの推進に取り組んでいます。そのなかで米原市米原地域では、総合型地域スポーツクラブ「MOSスポーツクラブ」が、米原市の『放課後安心プラン』の一環として、「放課後キッズ in まいはら」に取り組んでいる。

「放課後キッズ in まいはら」では、子ども達が安全な環境で思う存分遊べる場所、ゆったりと安心して過ごせる居場所として放課後や休日に公共施設等を活用し、いろいろな体験や交流活動が行えるようにしている。年度初めに参加者を募り、6月から12月まで毎月1回の活動を実施している。

### ■ 特徴的な活動内容

総合型地域スポーツクラブが中心となり活動しているため、バドミントンや卓球、ミニテニスなどのスポーツ体験が中心となっている。指導にはスポーツクラブの会員の方にもご協力頂いているところである。

米原市では、カヌー体験を通じて米原の豊かな自然を体験してもらいたいと、カヌー・カヤックを導入されているため、生涯学習課の協力を受け、放課後キッズ in まいはらでもカヌー体験を実施している。

### ■ 実施に当たっての工夫

遠足や野外活動以外の活動日は、2種目以上のスポーツ体験の準備をし、その場でグループ分けを行って時間帯によって違う体験をすることで、子ども達が飽きないように工夫している。

遠足では事前学習としてコーディネーターがまとめた遠足先のクイズ形式の情報を冊子にして配布し、ただ体感するだけでなく、興味を持って見ることや考えることができるようにしている。

また、活動内容に直接関係はありませんが、活動ごとの受付では必ず、保護者ではなく参加者自身に名前を答えて頂いています。学校以外の場でしっかりと発言できるような機会を作ることを目指しているためです。11月初旬には、「参加者」「保護者」「教育活動サポーター」それぞれに向けたアンケートを配布し、現状への意見や来年度に関することを問い、それぞれの立場の意見や希望を集約し、来年度の活動に繋げていけるよう努力した。

### ■ 事業の成果

体験する機会がなかなかないカヌーや、意外に体験する機会の少ない卓球などの活動の場を提供できた。

学校や学年が異なっている参加者が、それらを超えて協力して楽しんで頂けたように思います。また、ミニボーリングでは、子ども達が自分達でルールや役割（ピンを並べる係、ボールを戻す係など）を考えて実践するなど主体性をもって活動する姿を確認できた。

受付では、当初は保護者に名前を言ってもらっていた参加者が、中盤以降は聞かなくても自ら率先して名乗り、保護者の力を借りることなくスムーズに受付できるようになった。

### ■ 事業実施上の課題

保護者の積極的な参画を望む声がある一方で、活動時間帯に仕事をされている保護者の方もおられ、参加者の送迎を親類や友人に頼んでいるケースも見られる。仮に保護者の参加を推進した場合、現状では必ず保護者不在の参加者が発生してしまい、疎外感などを感じさせてしまう事態になりかねない。そのため、慎重に判断すべき案件だと思われる。



## ■ 家でできないいろいろな体験が、いくつも盛り込まれています

■ 米原市	
■ 活動名	
放課後キッズ in 310	
年間開催日数	上学年：25日 下学年：14日

コーディネーター数	1人
子どもの平均参加人数	上学年：8人 下学年：7人
開始年度	平成26年度

### ■ 活動の概要

4月から翌年3月にかけて、下学年は月1回から2回、上学年は月2回を実施した。ボールに親しむことを数多く取り入れ、家庭ではなかなかできない体験も実施した。上学年と下学年に分かれて活動を行った。

### ■ 特徴的な活動内容

上学年は、バドミントン、乗馬、卓球、スキー、スケートなどの活動を行った。

下学年は、ボール遊び、乗馬、農園、水泳、スケート、しめ縄づくり、書初めなどの活動を行った。

☆ バドミントン・・・事務局スタッフの指導で行った。

☆ 卓球・・・卓球サークルの指導を得て行った。

☆ ボール遊び・・・事務局スタッフの指導で、柔らかいボールや小学生バレーボールを使って、ボールに親しむ活動をした。

☆ 乗馬・・・近隣の乗馬クラブで4月と10月に実施した。

☆ 農園・・・事務局スタッフの指導で、カモン農園で5月にさつま芋苗を植え、10月に収穫した。

農園の近くで、5月にはイチゴが、10月にはイチジクがとれ、思わぬ収穫に保護者達も舌鼓を打っていた。

☆ 水泳・・・外は木枯らしが吹く中、温水プールで水泳と温泉気分を味わった。

☆ スケート・・・県立アイスアリーナで、ウインタースポーツのスケートを体験した。

☆ スキー・・・奥伊吹スキー場に集合して、地域の有資格者の指導で、ふれ合いと技術向上を目指して行った。

☆ 正月飾りづくり・・・親子でミニしめ縄づくりを体験した。

☆ 書初め教室・・・正月5日に書初めとぜんざいで正月を祝った。

### ■ 実施に当たっての工夫

☆ ボール遊びについては、子どもたちが退屈しないように、休憩時間を長めにとりながら実施した。

☆ 乗馬体験や農園体験、スケート体験、正月飾りづくり体験では、親子で参加してもらって大人にも体験してもらい、家庭での話題になることをねらった。

☆ 水泳は、事故が危惧されるので、保護者に安全管理にあたってもらった。

☆ 書初め教室では、学校の宿題になっている学年もあるので実施した。また、公民館の鏡餅をぜんざいとしていただき、新年を祝い、今年度の放課後キッズを締めくくった。

### ■ 事業の成果

☆ 異年齢間、学校間の交流ができた。また、親子で体験した活動では、子どもの活動というより放課後ママ的な活動となり、ママ友もできたようで予定にないふれあい、つながりが深まった。

### ■ 事業実施上の課題

☆ 上学年、下学年ともに2歳違うと運動能力などの差がかなりあり、一緒に活動することのむずかしさがある。

☆ 低学年ほど活動に集中できず、退屈、飽きっぽいなど活動内容の企画がむずかしい。



## ■ 多様な体験、深める交流 いぶきっ子の豊かな心の育成を目指して

■ 米原市	
■ 活動名	
放課後キッズ in ジョイ	
年間開催日数	10日

コーディネーター数	1人
子どもの平均参加人数	34人
開始年度	平成21年度

### ■ 活動の概要

- 第1回(5/28) ミニ運動会を楽しもう  
3班編制で班対抗による軽スポーツの体験をした。  
①綱引き ②スパー玉入れ ③しっぽ踏み ④パン食い競走
- 第2回(6/18) バスボムを作ろう  
重曹、クエン酸、片栗粉を材料にバスボム(入浴剤)をつくった。
- 第3回(7/16) グラウンドゴルフを楽しもう  
伊吹第2グラウンドでグラウンドゴルフを体験する。余った時間でホールインワン大会。
- 第4回(10/4) 福井県立恐竜博物館見学と恐竜化石発掘体験・・・土曜日実施。借り上げバスで体験学習に出かけた。
- 第5・6回(11/19,26) 3色だんご作りに挑戦!!・・・地域人材の活用。
- 第7回(12/10) キャンドルホルダーを作ろう
- 第8回(1/18) かるた・百人一首&餅つき大会(青少年育成会議伊吹支部との共催)
- 第9・10回(2/18,25) お楽しみ!お菓子作り

### ■ 特徴的な活動内容

#### 3色だんご作りに挑戦!!

地域で和菓子店を営む方を教育活動サポーターに迎え、3色だんご作りを体験した。だんごの生地作りは難しく時間もかかる作業なので、出来上がった生地を用意していただき、切ってだんごに丸め、串に刺して蒸す活動を体験した。お店の商品のように大きさの揃った団子にはならなかったが、子どもたちは楽しんで活動に取り組み、おいしい3色団子ができた。

始めに持ち帰り用の3串を作り、次に試食用のだんごを作った。子どもたちは、丸い団子だけでなく好きな形にもして、とても楽しそうであった。試食では、そのまま食べたり、あんこやきな粉をつけて食べたりした。和菓子屋さんの思いとしては、そのまま食べてもおいしいし、きな粉やあんこで味に変化を加えるとまた違った美味しさが味わえることに気づかせたかったようである。どの味もそれぞれにおいしく、和菓子の味の基本を感じることができた。最後の質問コーナーでは、和菓子屋さんの朝が早いことやとてもたくさん作っておられることがわかり、仕事の大変さを感じとることができた。



### ■ 実施に当たっての工夫

- ①活動内容は、スポーツ、もの作り、見学活動など偏りのないように計画した。
- ②グループ活動の際は異学年混合とし、高学年児童に役割を持たせ、リーダー意識を育てるようにした。
- ③安全確保
  - ・学校から帰宅後、必ず保護者による送迎とする。
  - ・放課後児童クラブ参加児童は、必ずクラブ指導員の引率による。
- ④緊急対応
  - ・センター外での活動には、必ず救急鞆を携行する。
  - ・緊急連絡先を児童名札裏面に記載し、緊急連絡に備えた。

### ■ 事業の成果

- スポーツ、調理、もの作りなど様々な活動を体験させることができた。
- 高学年児童にリーダーとしての自覚の芽生えが見えた。
- 2小学校合同での活動により学校間の交流が図れた。また、グループ活動により異学年交流も進んだ。

### ■ 事業実施上の課題

- 新しい活動の工夫・開拓
- 教育活動推進員の高齢化
- 活動内容によって児童負担金が多くなる。

放課後児童クラブの現状

平成26年5月1日現在

1 放課後児童クラブ数実施状況

(1) 小学校の状況

小学校区数	226 カ所	児童数	82,588 人
小学校1～3年生の総数	40,588 人	*4～6年	42,000 人

(2) 放課後児童クラブの概況

補助対象別クラブ数	国庫補助対象	大津市	市町単独実施	合計
	210	60	6	276

(3) 放課後児童クラブの状況

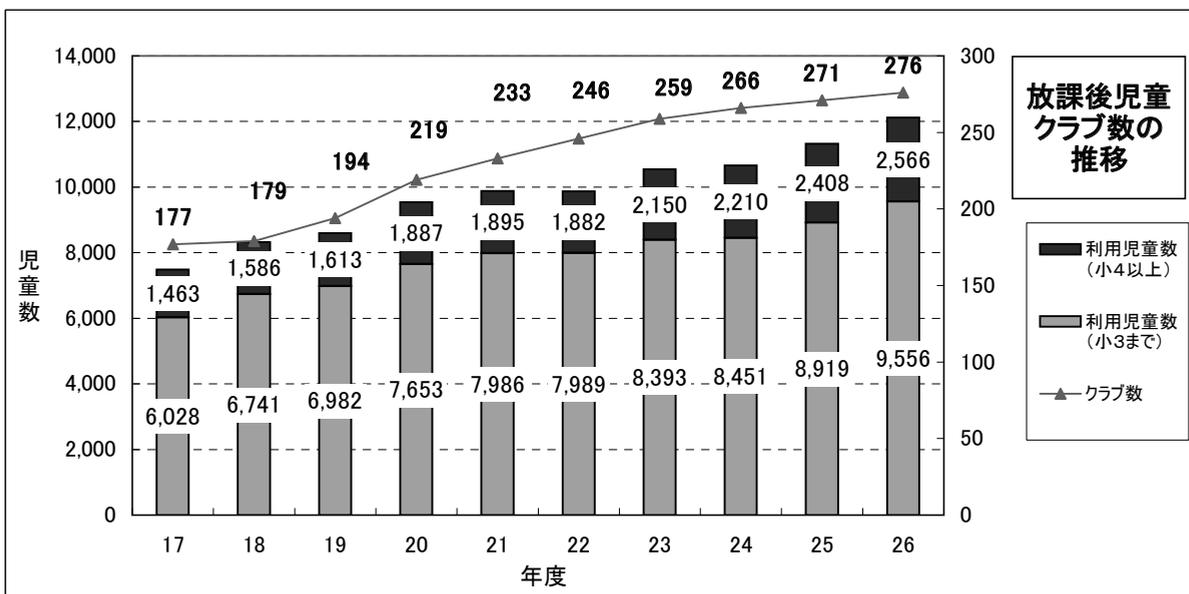
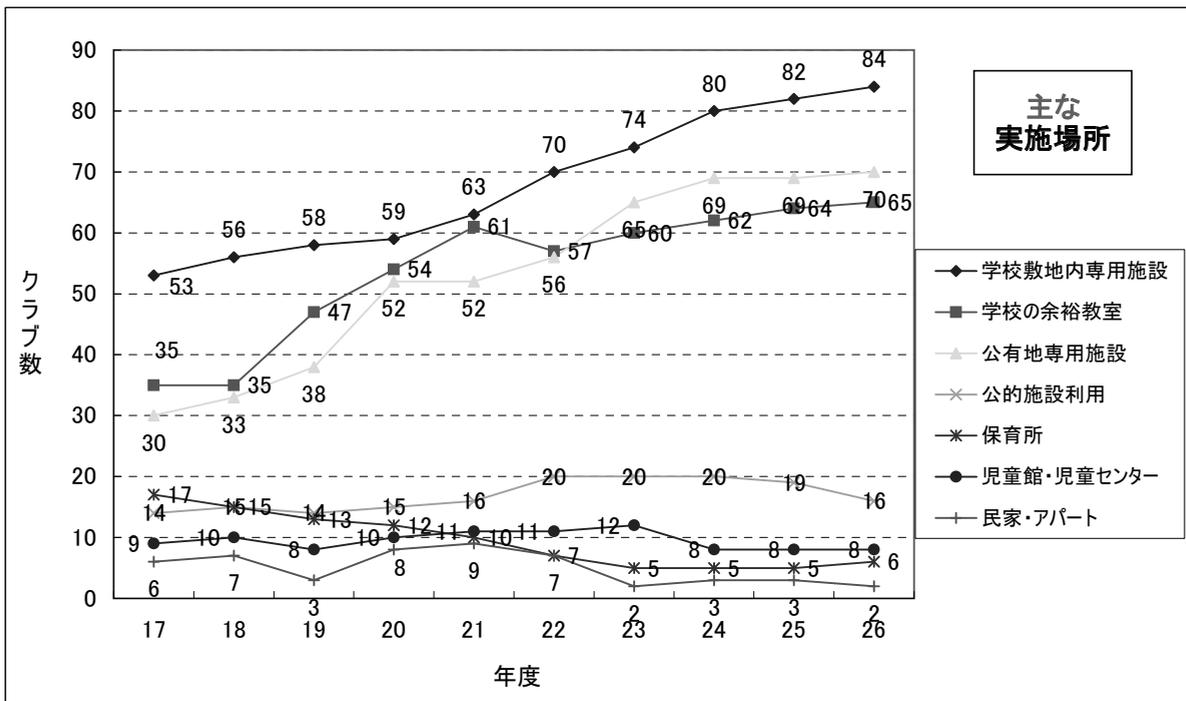
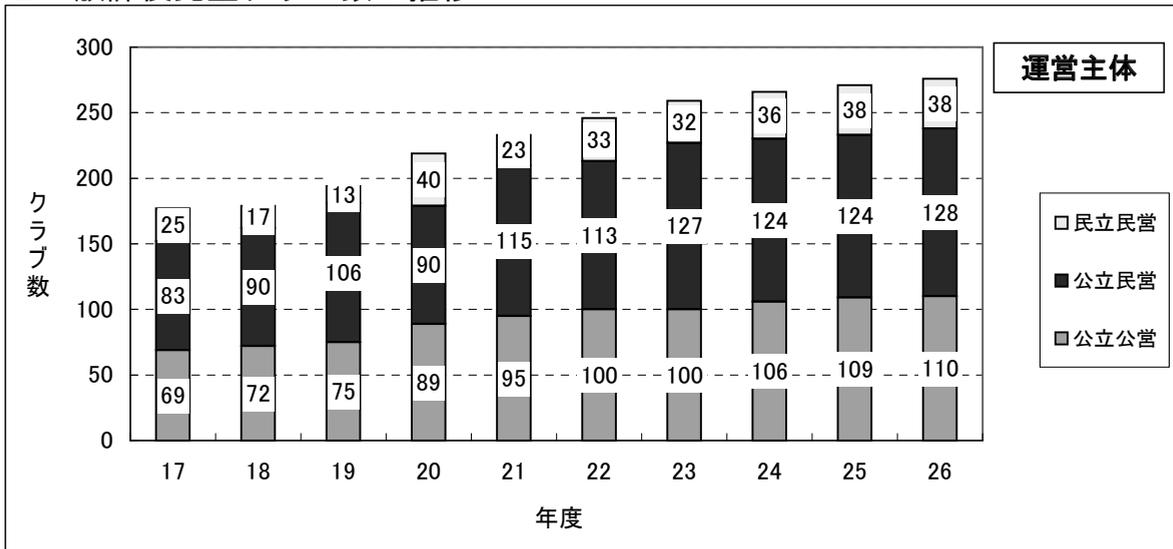
調査項目		公立公営	公立民営	民立民営	合計
実施場所別 放課後児童 クラブ数	児童館・児童センター	1	2	5	8
	学校の余裕教室	48	15	2	65
	学校敷地内専用施設	33	47	4	84
	公有地専用施設	22	46	2	70
	民有地専用施設	2	1	9	12
	民家・アパート	0	0	2	2
	公的施設利用	3	11	2	16
	団地集会室	0	1	0	1
	保育所	0	0	6	6
	幼稚園	1	5	2	8
	商店街空き店舗	0	0	2	2
	その他	0	0	2	2
	合計	110	128	38	276
登録児童数別 放課後児童 クラブ数	9人以下	2	4	1	7
	10人～19人	4	5	8	17
	20人～35人	40	26	5	71
	36人～70人	59	79	20	158
	71人以上	5	14	4	23
	合計	110	128	38	276
障害児受入数別 放課後児童 クラブ数	受入なし	13	19	13	45
	1人	27	34	14	75
	2人	26	21	6	53
	3人	17	17	4	38
	4人以上	27	37	1	65
	合計	110	128	38	276
終了時刻別 放課後児童 クラブ数	17:31～18:00	43	18	3	64
	18:01～18:30	65	38	9	112
	18:31～19:00	2	70	18	90
	19:01～20:00	0	2	5	7
	20:01～21:00	0	0	2	2
	21:01～22:00	0	0	1	1
合計	110	128	38	276	
休日の開館状況別 放課後児童 クラブ数	土曜日(毎週実施以外)	108 (2)	93 (21)	38 (1)	239 (24)
	日曜・祝日	0	8	7	15
	長期休暇	110	107	38	255
学年別児童数	小学校1年生(障害児)	1,541 (80)	1,762 (92)	470 (10)	3,773 (182)
	小学校2年生(障害児)	1,328 (80)	1,662 (106)	415 (8)	3,405 (194)
	小学校3年生(障害児)	904 (52)	1,166 (68)	308 (6)	2,378 (126)
	小学校4年生(障害児)	463 (39)	744 (49)	201 (7)	1,408 (95)
	小学校5年生(障害児)	204 (19)	432 (32)	112 (6)	748 (57)
	小学校6年生(障害児)	97 (9)	244 (20)	69 (6)	410 (35)
	その他(障害児)	0 0	0 0	0 0	0 0
	合計(障害児)	4,537 (279)	6,010 (367)	1,575 (43)	12,122 (689)
学年別 登録できなかった児童数	小学校1年生(障害児)	4 0	14 (1)	4 0	22 (1)
	小学校2年生(障害児)	5 0	12 (1)	0 0	17 (1)
	小学校3年生(障害児)	6 0	6 0	0 0	12 0
	小学校4年生(障害児)	7 0	42 (1)	1 0	50 (1)
	小学校5年生(障害児)	6 0	4 0	0 0	10 0
	小学校6年生(障害児)	1 0	4 0	0 0	5 0
	その他(障害児)	0 0	0 0	0 0	0 0
	合計(障害児)	29 0	82 (3)	5 0	116 (3)

注：( )内の数は、再掲である。

(4) 市区町村の実施状況

全市区町村数 A	実施率 (B/A)	実施市区町村			合計 B
		市(特別区)	町	村	
19	100%	13	6	0	19

## 2 放課後児童クラブ数の推移



III 放課後子ども教室の実践事例